

第117回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成27年3月

日時: 2015年3月27日(金) 18:00-19:30 場所: 神奈川大学 1号館 308-1号室

◆主催: 防災塾・だるま 司会: 山田美智子 記録: 紅林敏行

◆談義の会参加者: 会員 19名 一般 7名 計 26名 (敬称略)

片山さん(指導)



自助・共助が原点。防災意識を共有して防災減災に立ち向かっていくことが大切。

備え、発災時、避難時の色々な考え方、対処の方法を学ぶゲーム(だるま塾にてゲームカード5セットを用意)。

荏本塾長の挨拶



■実践 : 10周年記念第1弾 **新ゲーム誕生! 「防災めぐり」の解説・ゲーム**

*3人以上集まれば、誰でもどこでも手軽にできる

*みんなで考えよう地域の防災!

■指導 : 片山 晋氏 (会員、ゲーム考案者)

山田さん(司会)



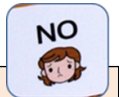
《5グループに分かれてゲームを楽しんだ!》

- ・知ロードゲームと異なりファシリテーターがいなくても出来る。
- ・「じゃんけん」で最初の親を決める。
- ・山積みしたテーマカード(設問)を親がめぐり、ゲームを開始。時計回りで次の人が親に。

《「防災めぐり」》

【特徴】防災についての幅広い考え方が学べる。

【狙い】知ロードのゲーム性を「坊主めぐり」式にアレンジし、横浜事情にマッチさせたもの。



《ゲーム体験の感想等》

- ・判断力が必要とされるゲーム。Iサイングし、参加者一人一人が熱くなる。そうになるとゲームは成功。
- ・親以外の方々からも意見が出て、問題意識等の違いによる考え方、意見等を学ぶ良い機会。
- ・YES/NOが分かれ、意見が錯綜。譲り合うことなく色々な意見が出て、話合いが深まった。
- ・そういう考え方があるのか? そういう前提があるのか? 色々な気づきがあった。
- ・設問の内容が曖昧に書かれている。だからこそ、色々な状況が頭に浮かび、行動イメージが広がった。(⇒片山:設問の内容を曖昧な表現にしている訳ではない。《笑い》)
- ・色々な意見を聴く事が大事だと理解した。
- ・楽しいゲーム。婦人会、老人会で是非やりたい。



次回(第118回)のご案内

- ・日時: 2015年4月24日(金) 18時~19時30分
- ・会場: 神奈川大学 1号館301号室
- ・テーマ: 突然に起こった災害に対応するために
- ・講師: 土田 博美氏(神奈川県看護師連盟横浜支部支部長)

テーマカード(設問)

